

開智フルセット競り勝つ男子



春の高校バレー

を制し、新田に勝利。悲願の日本一に向け好スタートを切った。

開智は序盤から積極的な攻撃をみせた。久保田や楠本の鋭いスパイクが決まる。相手も負けじと力強い攻撃をみせるも、粘りのプレーで好機をつくる。激しい打ち合いの末、第1セットを先取した。第2セットも勢いは衰えない。守備でもリベロ・木下の粘りのレシーブや立川、木内の鉄壁の二枚ブロックなど隙がない。しかし、後半に3連続失点など味方のミスが相次ぎ、このセットを落とす。

第3セットは、コンビバレーや緩急つけた攻撃で相手を翻弄。自分たちのペースを取り戻し得点を重ね、勝利を決めた。木下主将は「次は強豪

の駿台学園だが、挑戦者の気持を忘れず攻めていきたい」と意気込みを語った。



【開智 新田】第2セット、得点に喜ぶ開智の選手たち。武蔵野の森総合スポーツプラザ

▽男子2回戦
開智 2
和歌山 252025
222522
1 新
愛 媛 田

「ジャパネット杯春の高校バレー」第72回全日本バレーボール高等学校選手権は6日、武蔵野の森総合スポーツプラザ（東京都調布市）で、男女の2回戦計32試合が行われた。県代表の男子・開智はフルセットまでもつれた接戦の末、新田（愛媛）に勝利。7日の3回戦では、過去に優勝経験もある強豪・駿台学園（東京）に挑む。

25年連続25回目の出場となった開智は、一進一退の接戦

開智・福井将人監督「初戦で緊張していたが、普段から厳しく練習していた成果が出たと思う。次戦に向け、また立て直す」